

THE HEROES

注目ライダー直前インタビュー

YAMAHA FACTORY RACING TEAM

IA1 #3 大城 魁之輔選手

「目指すはチャンピオンのみ 平常心で勝利を狙います!!」



随所で繰り広げられるバトルと激しいトップ争いに沸いた開幕戦。7-3-1の総合3位という結果については、どう捉えていますか!?

レースになるとつい気負ってしまう性格で、平常心で臨む...を目標にしていたのですが、ヒート1のスタートはジェイさんと一緒に1コーナー先のショートカットを忘れるし、追い上げ途中で2回も転倒して、あっ、これ1番やちゃダメなヤツって途中で気が付きました(笑)。そこからまあまあ立て直して良かったかなと。チーム体制が変わってオフシーズンはどんな準備を??

ワークスチームという勝利とタイトル獲得が至上の体制ではあるんですけど、これまでもいい環境で走らせて貰えてたので、特に大きく変わったとかはないですね。ただ東京で体制発表会に出席したり、そこでロードの中須賀さんとお話することが出来たり、貴重な経験が出来ました。シーズンオフはIA2の田中君とニューゼランドに遠征して、ジョシュ・コビンズさんに走りやトレーニングを見てもらって、これまでにないくらい充実したオフを過ごすことが出来ました。

沖縄生まれアメリカ育ち名古屋在住の大城選手にとってここHSR九州はどんな印象??

ボクはコースの好き嫌いでほとんどないんですが、ここはハイスピードでパッシングポイントも多いし、何より250でも勝ってるし450にスイッチして開幕戦で表彰台に上がれて、いい思い出しかないです。レース以外では??

やっぱり馬刺かなあ。大好きなんです。レース前は生物とか食べないですが、終わったら行っちゃいますね。先週の事前テストの後も満喫しました(笑)。

プライベートではお父さんなんですよね。奥様はIA2チャンピオン中島激也選手のお姉さん!? かなりすごいファミリーだ(笑)。

毎日ちゃんとお父さんしてます。...いや、実はほとんど奥さん任せで、何と言っててもモトクロスに理解があるしレースに集中出来る環境を作って貰えますね。実家の母と一緒に住んで手伝ってくれてるし、僕には双子の兄妹がいるんですが、彼女もしょっちゅう遊びに来ていて、女性陣みんな仲良いので、ボクは子育てのオアシスとこだけいいとこ取りさせてもらってるかも!?

さて今シーズンの目標なんですけど...!?

もちろんチャンピオン!! それしかないです。その過程で自分の成長に集中する。開幕の自分よりも今回、次と確実にレベルを上げていくことが何より大事だと思っています。

開幕戦のトリプルヒートから今回はフルスケールでのレースになりますが、ズバリ見どころはどの辺りになるとお思いますか??

ボクはどっちがいいとか特にないです。どちらも好きだし自信もある。見所ですか?? 1コーナーの中で観戦する人が多いんですけど、外周路を回るとコースに近いバトルが見れて楽しいと思う。奥のコンビネーションとか、スタート前にラインチェックに行くんですけど、その時はハイタッチOKです。もし集中してたら大きな声で呼んでください。応援をお願いしますね!!

地元九州のライダーに熱か応援頼むったい!!

福岡県小都市出身で、カワサキ→ホンダ→カワサキとメーカーチームを移籍しながら常に全日本のトップを走り続けてきた能塚智寛選手が第一線から退いて、九州のファンは寂しくなるよなって思ってた、なんと今回エキシビジョンクラスとして併催されるCRF125Fクラスに2003年に現在のIA2クラスでチャンピオンに輝いた溝口哲也さんの名が!!

これまで数々の名選手を輩出してきた九州ですが、もちろん若手も育っています。プログラムのエンリ-リストを見てもらうとIB OPENクラスには、福岡からなんと14歳のライダー特別出場しています。各クラス1人でいいので、ライダーの名前とゼッケンを覚えてもらって、コースサイドから熱い視線を送ってください。

というわけで応援に欲しい地元ライダーですが、国内最高峰IA1に地元からエントリーしているのがベテラン古川寛選手(#87/カワサキ)。普段はバイクショップの店長さんを勤めながら、モトクロスの火を絶やしたくないと頑張っています。豊丸良選手(#93/ホンダ)は九州選手権から昇格を果たした学生ライダー。地元で国内最高峰の舞台に挑みます。

IA2クラスではお隣菊池市出身の森優介選手(#56/ホンダ)に大注目。普段は栃木で技術開発の仕事をしているが今回は里帰りを兼ねてレースに参戦。今岡駿太選手(#58/カワサキ)は宮崎県都城市出身で、現在は所属チームの近く東大阪に移り住んで、練習とトレーニングの日々を過ごしています。IA2年目のルーキー臺琉斗選手(#86/ホンダ)は福岡在住の17歳。去年はIAの壁に苦戦を強いられましたが、怪我を乗り越え地元で初の決勝進出と2ヒート完走を目指します。

IB OPENクラスには5名の九州勢がエントリー。そんな中、福岡在住のスーパ-ルレーキの江藤彪之介選手(#51/ヤマハ)にぜひ注目してください。去年まで85ccのマシン、いわゆるミニモトでジュニアクラスに参戦していた若干14歳。日本モトクロス界の歴史を振り返ると、史上最多の優勝回数とタイトル獲得の金字塔を打ち立てたスーパ-ルジェンド成田亮さんのIBデビューが13歳。江藤選手はそれに続く期待を背負った逸材です。

観戦ポイント決まったらまずプログラムをチェックして、地元ライダーには特に熱い応援をお願いしますね。

Illustration of various riders and their teams for the JMX Round 2 Kyushu Grand Prix. Includes names like Akihiro Oshiro, Kenji Oshiro, and others with their respective team logos and race numbers.

VOICE CONTROL レース直前、注目ライダーからの一言メッセージ

IA1 #87 古川 寛選手: ライダー少ないし、地元大会を少しでも盛り上げられたらと思って毎年ここのだけですけど、今回もエントリーしました。ただ、ちょっと張り切り過ぎて先週派手に転倒してしまいスタートグリッドに着けるかどうか微妙ですがお店のお客さん大勢チケット買って応援に来てくれるので精一杯頑張るつもりです!!

IA1 #93 豊丸 良選手: IA初レース。それもいきなりトップクラスなのでメッチャ緊張してます!! 大学4年で就活もあるしチャンスは今回だけと思って周遅れにならないよう、1ポイントでも多く獲得出来るよう頑張ります。

IA2 #58 今岡 駿太選手: 大阪行く前はここがホームコースで誰よりも乗ってきたと思う。目標は開幕戦でマークしたベストリザルト10位を超えること。出来れば6位以内、表彰台争いに加わりたい!!

IA2 #86 臺 琉斗選手: 去年は秋の関東で怪我してラスト2戦欠場。やっと治ったのに開幕前に今度は肩を怪我して今回は久々の復帰戦になります。全力出し切って、一つでも上の順位を狙います!!

IB OPEN #51 江藤 彪之介選手: 全国大会優勝で85を卒業し、今回が全日本初レース。2st125はボク1人だし、ルーキーとして周りなんか気にせず地元で全力を出し切ります。前でバトルする自身はあります。表彰台目指して頑張ります!!

第1戦 中部大会 3月15日



30年振りの復活開催となった開幕戦中部大会。会場となったいなほモータースポーツランドでは初の全日本。パドックスペースの関係でIB OPENは行われず、今大会同様、日曜のみの1DAY開催、20分という短い時間に練習走行とタイムアタック予選を行うタイムスケジュールとなった開幕戦。当日の天候は晴れ。しかし終日強風が吹き高台からレースを見守る観客は、寒さと舞上がる埃対策で顔を覆いながらもスリリングなバトルに熱狂した。トリプルヒート制で行われたIA1クラスは第1ヒートは、先行した大倉をピタリとマークしプレッシャーをかけた西條が、大倉のミスを誘うと鮮やかな逆転でクラス初優勝をマーク。第2ヒートは大倉、ジェイ、大城のランク上位3名がサイドバイサイドのバトルを繰り広げ、大城、ジェイとのバトルを制した大倉が逆転V。第3ヒートはジェイが先行、これに内田、大倉、大城が挑む形で激しいバトルを展開。後半ジェイと大倉のトップ争いは、一旦は大倉が前に出るも直後に両者のラインが交錯し大倉が転倒。その背後でチャンスを伺っていた大城が最後にジェイを逆転して優勝。総合では大倉が1位、ジェイ、大城が僅差の2-3位。大塚が総合4位に食い込んだ一方で、ヒート1を制した西條はヒート2の転倒でマシンに不調を来した総合では15位に甘んじた。

IA2クラスは田中と地元の柳瀬が優勝を分け合い2-1位でまとめた柳瀬が総合V。田中に続き3位表彰台に立った横澤と福村が3-4位。ゼッケン01を付ける笹谷がルーキータップの総合14位に食い込む健闘を見た。LMXクラスは箕浦が得意のスタートを決めて先行。その箕浦を2st85ccのマシンで健闘する川上がバーストップに浮上するも、スタート3番手のポジションから前の2台を追ったチャンピオン川井が箕浦、川上を捉えて逆転に成功。出走台数21台とやや寂しさを感じさせる中、女王の名に相応しい力強い走りを見せた川井が連覇に向けて幸先のいいスタートを決めた。

2026 SEASON CATCH UP

IA1クラス STATS (リザルト&ポイントランキング)

Table with 5 columns: Rank, Rider Name, Team, Points, and other stats for the IA1 class.

IA2クラス STATS (リザルト&ポイントランキング)

Table with 5 columns: Rank, Rider Name, Team, Points, and other stats for the IA2 class.

from DIRT to DIRT (泥んこ取材記) 「ネイションズ(MXoN)へ行こう!!」



年に1度世界中のトップライダーたちが一堂に介しモトクロスの最強国を決める大会、それがモトクロス・オブ・ネイションズ(MXoN)です。今年の舞台はフランスのエルネ。モトクロス界最大のイベントには世界中から10万人近いファンが詰めかけます。しかも今年のMXoNには、YAMAHA BLU BRU CUP EUROPE SUPER FINALEという若手の育成イベントが併催されます。写真は昨年スウェーデンGPに併催された同大会に出場した福岡の江藤彪之介選手。今年も選抜入りを狙っているとのこと。世界一の舞台がどんなレースか、一緒に観に(応援に)行きませんか?

TSR RACING TEAM logo and contact information for Fukuoka Kenji Arai City, including phone number 0942-27-9023.

Advertisement for Plaza store in Fukuoka, featuring a photo of a group of riders and contact information for Kenji Arai City.

Advertisement for FURUKAWA (Furukawa) team, featuring the Green Shadow logo and contact information.

Advertisement for YSP Bunkyo Bridge Racing team, featuring rider Kenji Arai City and contact information.

Advertisement for Motion Racing team, featuring riders Seto Takahiro, Dai Ryuto, and Eto Toranosuke, with contact information.